

総合問題① (Leçon 1~3) 解答と解説

I.7問×各4点=28点 II.5問×各4点=20点 III.7問×各4点=28点 IV.6問×各4点=24点

I. 1) Vous avez fait des gâteaux avec votre mère. 「あなたはお母さんとケーキを作った」	faire は複合過去形の時、助動詞 avoir をとる。過去分詞は fait となる。
2) Tu n'as jamais étudié l'économie. 「君は一度も経済を勉強しなかった」	étudier は複合過去形の時、助動詞 avoir をとる。否定形では助動詞を ne と jamais ではさむ。過去分詞は -er 動詞なので、étudié となる。
3) Hélène est partie pour ses études. 「エレヌは勉強しに行った」	主語 Hélène は女性単数。partir は複合過去形の時、助動詞 être をとる。過去分詞は parti、助動詞 être をとる場合、過去分詞は主語と性数一致するので女性単数 -e をつけ、partie となる。
4) Ces garçons sont venus en voiture. 「少年たちは車でやって来た」	主語 ces garçons は男性複数名詞。venir は複合過去形の時、助動詞 être をとる。過去分詞は venu、助動詞 être をとる場合、過去分詞は主語と性数一致するので男性複数 -s をつけ、venus となる。
5) Elles ne se sont pas réveillées tôt ce matin. 「彼女たちは今朝早く起きなかった」	主語 elles は女性複数。代名動詞 se réveiller は複合過去形の時、助動詞 être をとる。否定文では助動詞を ne と pas ではさむ。過去分詞は -er 動詞なので、réveillé、再帰代名詞が直接目的補語の場合、過去分詞は再帰代名詞 (= 主語) と性数一致するので女性複数 -es をつけ、réveillées となる。
6) Je me suis couchée tard hier soir. 「私は昨夜遅くに寝た」	主語 je は女性単数。代名動詞 se coucher は複合過去形の時、助動詞 être をとる。過去分詞は couché、再帰代名詞が直接目的補語の場合、過去分詞は再帰代名詞 (= 主語) と性数一致するので、女性単数 -e をつけ、couchée となる。
7) Nous nous sommes écrit pendant 5 ans. 「私たちは5年間手紙をやり取りした」	代名動詞 s'écrire は複合過去形の時、助動詞 être をとる。écrire は間接目的補語をとるので、過去分詞は再帰代名詞 (= 主語) の性数に一致させる必要はない。pendant を使う時、半過去形は使えず複合過去形となる。

II. 1) Ma mère habitait à Nîmes lors de ma naissance. 「私が生まれた頃、母はニームに住んでいた」	habiter は -er 動詞。半過去形は直説法現在 1 人称複数形 (nous) から -ons をのぞいたものが語幹となるので、habitait となる。
2) Ils allaient à l'église tous les dimanches. 「毎週日曜日、彼らは教会に通っていた」	aller の場合、半過去形の語幹は all- なので、半過去は allaient となる。
3) En 2011, nous étions lycéens. 「2011年、私たちは高校生でした」	être の場合、半過去形の語幹は ét- なので、半過去は étions となる。
4) Avant, il faisait du tennis avec son père. 「以前、彼は父とテニスをしていた」	faire の場合、半過去形の語幹は fais- なので、半過去は faisait となる。
5) Mon chien dormait sur la chaise comme d'habitude. 「私の犬はいつものようにイスの上で寝ていた」	dormir の場合、半過去形の語幹は dorm- なので、半過去は dormait となる。

<p>III. 1) À huit heures, il avait déjà fini ses devoirs. 「8時には、彼は宿題をすでに終えていた」</p>	<p>finir は大過去形るとき、助動詞 avoir をとる。助動詞は、主語に合わせ、半過去形 avait に変わる。過去分詞は-ir 動詞なので、fini となる。</p>
<p>2) Mes sœurs s'étaient couchées avant mon retour. 「私が帰るより先に、妹(姉)は寝ていた」</p>	<p>主語 mes sœurs は女性複数名詞。代名動詞 se coucher は大過去形るとき、助動詞 être をとる。助動詞は、主語に合わせ、半過去 étaient に変わる。過去分詞は-er 動詞なので、couché、助動詞 être をとる場合、過去分詞は主語と性数一致するので女性複数-es をつ couchées となる。</p>
<p>3) Je n'avais jamais essayé cela jusqu'alors. 「私はそれまでそれを一度も試したことがなかった」</p>	<p>essayer は複合過去形るとき、助動詞 avoir をとり、過去分詞は essayé となる。</p>
<p>4) Quand Emma est arrivée à la gare, son train était déjà parti. 「エマが駅に着いたときには、電車はすでに出発していた」</p>	<p>arriver は複合過去形るとき、助動詞 être をとる。過去分詞は-er 動詞なので、arrivé、助動詞 être をとる場合、過去分詞は主語 Emma (女性単数名詞) と性数一致するので女性単数-e をつけ、arrivée となる。partir は直説法大過去るとき、助動詞 être をとる。過去分詞は、parti となる。動詞が複合時制の場合、副詞 déjà は助動詞と過去分詞のあいだに置かれる。</p>
<p>5) Quand il a téléphoné à Lina, elle avait déjà changé de numéro de smartphone. 「彼がリナに電話したときには、 彼女はスマートフォンの番号をもうすでに変えていた」</p>	<p>téléphoner は複合過去形るとき、助動詞 avoir をとり、過去分詞は téléphoné となる。changer は大過去形るとき、助動詞 avoir をとり、過去分詞は changé となる。動詞が複合時制の場合、副詞 déjà は助動詞と過去分詞のあいだに置かれる。</p>

<p>IV. 1) Tu viendras à quelle heure demain ? 「明日は何時に来るの？」</p>	<p>単純未来形の venir の語幹は viend-になる。単純未来形の活用語尾は[r+avoir の現在形]なので、venir は viendras になる。</p>
<p>2) Elle sera rentrée à la maison avant cinq heures. 「彼女は 5 時には家に帰るだろう」</p>	<p>前置詞 avant があるので、未来のある時点までに完了している行為を表す文章。主語 elle は女性単数。前未来形は「助動詞(avoir また être)の単純未来形+過去分詞」である。rentrer の場合、助動詞は être で、主語に合わせ sera となる。過去分詞は-er 動詞なので、rentré、être をとる場合、過去分詞は主語と性数一致するので女性単数-e をつけ、rentrée となる。</p>
<p>3) J'aurai soixante ans l'année prochaine. 「私は来年 60 歳になる」</p>	<p>単純未来形の avoir の語幹は au-になる。単純未来形の活用語尾は[r+avoir の現在形]なので、avoir は aurai になる。</p>
<p>4) Elles iront en Angleterre dans deux semaines. 「彼女たちは 2 週間後イギリスに行くでしょう」</p>	<p>単純未来形の avoir の aller の語幹は i-になる。単純未来形の活用語尾は[r+avoir の現在形]なので、aller は iront になる。</p>
<p>5) Quand tu auras fini tes devoirs, tu pourras jouer à des jeux vidéo. 「宿題を終えたら、ゲームをしようよ」</p>	<p>主節に表された行為よりも前に、接続詞 quand が用いられた従属節の行為のほうが完了している予定なので、finir は前未来形 auras fini、pouvoir は単純未来形 pourras になる。</p>